

ダイワ・インド・ルピー債 オープン（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第91期（決算日 2019年6月12日）
第92期（決算日 2019年7月12日）
第93期（決算日 2019年8月13日）
第94期（決算日 2019年9月12日）
第95期（決算日 2019年10月15日）
第96期（決算日 2019年11月12日）

（作成対象期間 2019年5月14日～2019年11月12日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2011年11月16日～2021年11月12日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの受益証券
	ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	イ．インド・ルピー建ての債券 ロ．インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i．インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii．国際機関等が発行する債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			JPMorgan GBI-EM インド (円換算)		公 社 債 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
67期末(2017年6月12日)	10,988	60	△ 0.0	19,929	0.4	94.2	2,911
68期末(2017年7月12日)	11,217	60	2.6	20,428	2.5	95.4	3,165
69期末(2017年8月14日)	10,940	60	△ 1.9	20,007	△ 2.1	92.4	3,426
70期末(2017年9月12日)	11,001	60	1.1	20,204	1.0	91.3	3,802
71期末(2017年10月12日)	10,948	60	0.1	20,202	△ 0.0	95.6	4,200
72期末(2017年11月13日)	11,016	60	1.2	20,429	1.1	91.0	4,452
73期末(2017年12月12日)	10,996	60	0.4	20,588	0.8	95.7	4,361
74期末(2018年1月12日)	10,742	60	△ 1.8	20,221	△ 1.8	94.4	4,312
75期末(2018年2月13日)	10,268	60	△ 3.9	19,442	△ 3.9	94.8	4,184
76期末(2018年3月12日)	9,860	60	△ 3.4	18,828	△ 3.2	94.6	4,036
77期末(2018年4月12日)	10,004	60	2.1	19,195	1.9	94.1	4,131
78期末(2018年5月14日)	9,683	60	△ 2.6	18,782	△ 2.2	92.4	4,087
79期末(2018年6月12日)	9,671	60	0.5	18,858	0.4	94.1	4,092
80期末(2018年7月12日)	9,581	60	△ 0.3	18,898	0.2	95.1	3,755
81期末(2018年8月13日)	9,504	60	△ 0.2	18,931	0.2	95.9	3,698
82期末(2018年9月12日)	8,928	60	△ 5.4	17,867	△ 5.6	94.8	3,429
83期末(2018年10月12日)	8,832	60	△ 0.4	17,942	0.4	94.1	3,432
84期末(2018年11月12日)	9,210	60	5.0	18,954	5.6	94.8	3,546
85期末(2018年12月12日)	9,262	60	1.2	19,333	2.0	94.4	2,480
86期末(2019年1月15日)	9,076	60	△ 1.4	19,150	△ 0.9	84.2	2,424
87期末(2019年2月12日)	9,162	60	1.6	19,472	1.7	94.8	2,465
88期末(2019年3月12日)	9,437	60	3.7	20,235	3.9	96.0	2,556
89期末(2019年4月12日)	9,575	60	2.1	20,590	1.8	95.8	2,575
90期末(2019年5月13日)	9,277	60	△ 2.5	20,092	△ 2.4	95.6	2,331
91期末(2019年6月12日)	9,456	60	2.6	20,627	2.7	96.2	2,375
92期末(2019年7月12日)	9,821	60	4.5	21,625	4.8	95.6	2,497
93期末(2019年8月13日)	9,140	60	△ 6.3	20,262	△ 6.3	94.2	2,371
94期末(2019年9月12日)	9,277	60	2.2	20,689	2.1	96.5	2,414
95期末(2019年10月15日)	9,245	60	0.3	20,867	0.9	93.5	2,377
96期末(2019年11月12日)	9,258	60	0.8	21,056	0.9	95.2	2,374

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EM インド (円換算) は、JPMorgan GBI-EM インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

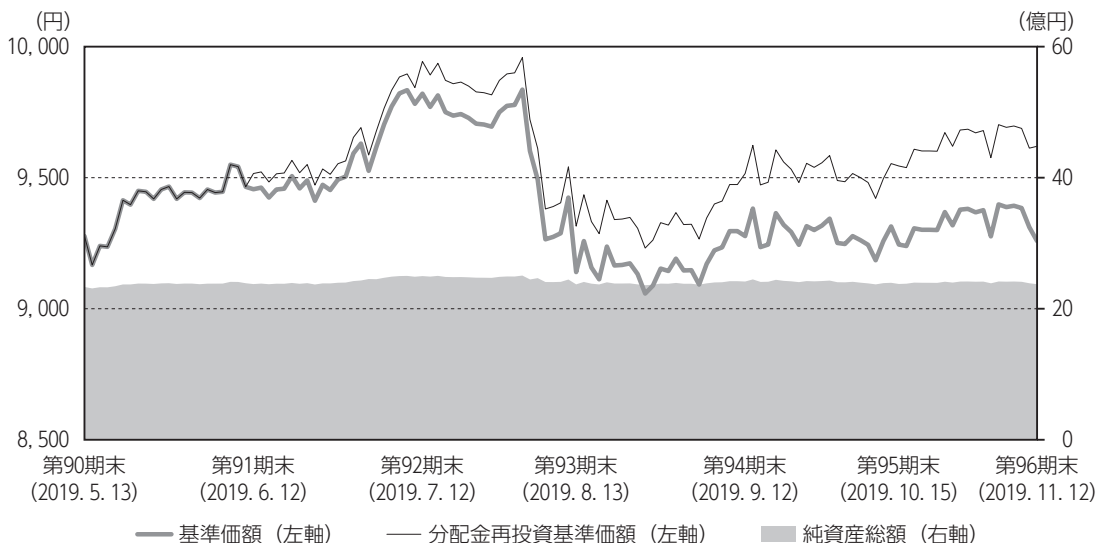
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第91期首：9,277円

第96期末：9,258円（既払分配金360円）

騰落率：3.7%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーが対円で小幅に下落（円高）したことはマイナス要因となりましたが、債券の利息収入と債券価格の上昇（金利は低下）がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　インド （円換算）		公 社 債 組 入 率 比
			騰 落 率	（参考指数）	騰 落 率	
第91期		円	%		%	%
	（期首）2019年 5 月13日	9, 277	—	20, 092	—	95. 6
	5 月末	9, 443	1. 8	20, 472	1. 9	95. 3
第92期	（期末）2019年 6 月12日	9, 516	2. 6	20, 627	2. 7	96. 2
	（期首）2019年 6 月12日	9, 456	—	20, 627	—	96. 2
	6 月末	9, 504	0. 5	20, 753	0. 6	95. 6
第93期	（期末）2019年 7 月12日	9, 881	4. 5	21, 625	4. 8	95. 6
	（期首）2019年 7 月12日	9, 821	—	21, 625	—	95. 6
	7 月末	9, 778	△ 0. 4	21, 533	△ 0. 4	95. 2
第94期	（期末）2019年 8 月13日	9, 200	△ 6. 3	20, 262	△ 6. 3	94. 2
	（期首）2019年 8 月13日	9, 140	—	20, 262	—	94. 2
	8 月末	9, 191	0. 6	20, 406	0. 7	96. 1
第95期	（期末）2019年 9 月12日	9, 337	2. 2	20, 689	2. 1	96. 5
	（期首）2019年 9 月12日	9, 277	—	20, 689	—	96. 5
	9 月末	9, 317	0. 4	20, 845	0. 8	96. 3
第96期	（期末）2019年10月15日	9, 305	0. 3	20, 867	0. 9	93. 5
	（期首）2019年10月15日	9, 245	—	20, 867	—	93. 5
	10 月末	9, 376	1. 4	21, 186	1. 5	96. 0
	（期末）2019年11月12日	9, 318	0. 8	21, 056	0. 9	95. 2

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 5. 14 ～ 2019. 11. 12)

■インド債券市況

インド債券金利は低下（債券価格は上昇）しました。

2019年5月に下院総選挙で与党が圧勝したことや、インフレが鈍化する中でのインド準備銀行による金融緩和が金利低下材料となりました。また、先進国の主要中央銀行が世界経済への懸念から金融緩和姿勢に転換し、世界的に金利が低下したことが、新興国債券市場全体の金利低下要因となりました。

■為替相場

インド・ルピー為替相場は対円で小幅に下落しました。

2019年6月には、原油と金価格上昇による貿易赤字の拡大懸念でルピーは一時下落しましたが、7月に外国直接投資規制の緩和を検討するとしたことが好感され、上昇に転じました。しかし8月には、米中貿易摩擦が高まり、市場心理が悪化したことでルピーは下落に転じました。10月後半からは、米中通商協議や英国のEU（欧州連合）離脱問題への懸念が後退したことで市場のリスク回避的な姿勢が弱まったことなどを背景に、下落幅を縮小させました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行います。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

ポートフォリオについて

(2019. 5. 14 ~ 2019. 11. 12)

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

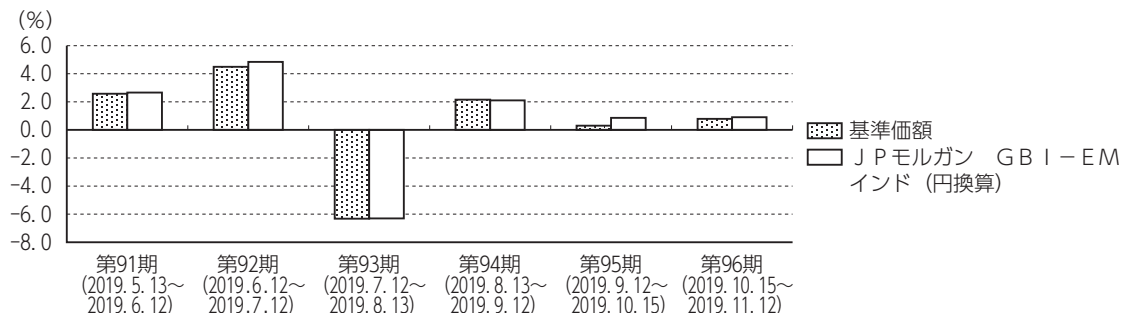
■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建ての債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2019年5月14日 ～2019年6月12日	2019年6月13日 ～2019年7月12日	2019年7月13日 ～2019年8月13日	2019年8月14日 ～2019年9月12日	2019年9月13日 ～2019年10月15日	2019年10月16日 ～2019年11月12日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	0.63	0.61	0.65	0.64	0.64	0.64
当期の収益 (円)	49	50	38	45	42	40
当期の収益以外 (円)	10	9	21	14	17	19
翌期繰越分配対象額 (円)	5,118	5,109	5,088	5,074	5,057	5,037

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 49.66円	✓ 50.19円	✓ 38.55円	✓ 45.96円	✓ 42.85円	✓ 40.34円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	4,878.98	4,886.11	4,891.50	4,892.76	4,893.30	4,893.87
(d) 分配準備積立金	✓ 249.89	✓ 233.11	✓ 218.36	✓ 195.81	✓ 181.32	✓ 163.68
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	5,178.55	5,169.42	5,148.42	5,134.54	5,117.48	5,097.90
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	5,118.55	5,109.42	5,088.42	5,074.54	5,057.48	5,037.90

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行います。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第91期～第96期 (2019. 5. 14～2019. 11. 12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0. 726%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 400円です。
(投 信 会 社)	(31)	(0. 325)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0. 380)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	8	0. 080	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0. 051)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0. 026)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	76	0. 807	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

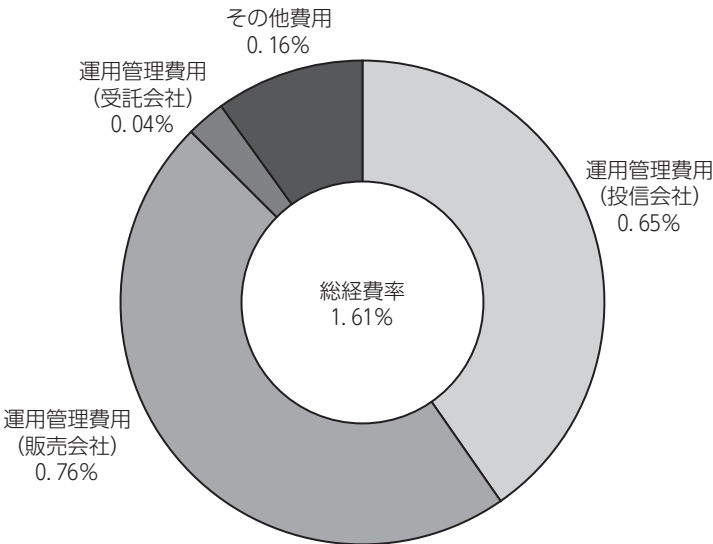
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.61%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2019年5月14日から2019年11月12日まで）

決 算 期	第 91 期 ～ 第 96 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	68,725	142,268	97,772	202,392

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第90期末	第 96 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	1,158,023	1,128,976	2,362,834

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月12日現在

項 目	第 96 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	2,362,834	98.6
コール・ローン等、その他	33,713	1.4
投資信託財産総額	2,396,547	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.17円、1インド・ルピー＝1.54円です。

（注3）ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて、第96期末における外貨建純資産（2,402,476千円）の投資信託財産総額（2,409,083千円）に対する比率は、99.7%です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドの主要投資対象であるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて行った取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2019年5月14日～2019年11月12日）に該当した取引は、直物為替先渡取引が8件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

直物為替先渡取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、売買の別、想定元本、満期日その他当該取引の内容に関することについて調査を委託しました。

なお、本調査は財務諸表監査の一部ではなく、また、価格の妥当性や内部管理体制について保証を提供するものではありません。

ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年6月12日)、(2019年7月12日)、(2019年8月13日)、(2019年9月12日)、(2019年10月15日)、(2019年11月12日)現在

項 目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末
(A) 資産	2,405,027,864円	2,516,120,435円	2,390,818,873円	2,433,490,741円	2,405,742,044円	2,396,547,973円
コール・ローン等	29,635,632	30,054,508	30,581,955	29,734,294	29,878,847	29,480,328
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド（評価額）	2,364,372,367	2,486,065,927	2,360,236,918	2,403,756,447	2,366,437,582	2,362,834,895
未収入金	11,019,865	—	—	—	9,425,615	4,232,750
(B) 負債	29,043,650	18,159,547	19,207,545	18,516,396	28,122,640	22,201,111
未払収益分配金	15,076,792	15,261,520	15,568,386	15,619,757	15,430,883	15,388,547
未払解約金	11,135,327	—	464,400	—	9,430,388	4,006,385
未払信託報酬	2,815,461	2,865,639	3,124,573	2,830,364	3,177,155	2,706,829
その他未払費用	16,070	32,388	50,186	66,275	84,214	99,350
(C) 純資産総額（A－B）	2,375,984,214	2,497,960,888	2,371,611,328	2,414,974,345	2,377,619,404	2,374,346,862
元本	2,010,239,007	2,034,869,357	2,075,784,805	2,082,634,314	2,057,451,091	2,051,806,366
次期繰越損益金	365,745,207	463,091,531	295,826,523	332,340,031	320,168,313	322,540,496
(D) 受益権総口数	2,512,798,761口	2,543,586,699口	2,594,731,009口	2,603,292,896口	2,571,813,868口	2,564,757,961口
1万口当り基準価額（C／D）	9,456円	9,821円	9,140円	9,277円	9,245円	9,258円

* 第90期末における元本額は2,010,916,032円、当作成期間（第91期～第96期）中における追加設定元本額は143,543,957円、同解約元本額は102,653,623円です。

* 第96期末の計算口数当りの純資産額は9,258円です。

■損益の状況

第91期 自 2019年5月14日 至 2019年6月12日

第92期 自 2019年6月13日 至 2019年7月12日

第93期 自 2019年7月13日 至 2019年8月13日

第94期 自 2019年8月14日 至 2019年9月12日

第95期 自 2019年9月13日 至 2019年10月15日

第96期 自 2019年10月16日 至 2019年11月12日

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
(A) 配当等収益	△ 710円	△ 880円	△ 953円	△ 700円	△ 605円	△ 361円
受取利息	4	8	2	—	21	—
支払利息	△ 714	△ 888	△ 955	△ 700	△ 626	△ 361
(B) 有価証券売買損益	62,467,716	110,091,500	△ 156,717,037	54,009,425	10,472,765	21,342,961
売買益	62,853,701	110,448,314	236,387	54,033,696	10,660,858	21,465,164
売買損	△ 385,985	△ 356,814	△ 156,953,424	△ 24,271	△ 188,093	△ 122,203
(C) 信託報酬等	△ 2,831,498	△ 2,881,990	△ 3,142,371	△ 2,846,484	△ 3,195,095	△ 2,721,965
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	59,635,508	107,208,630	△ 159,860,361	51,162,241	7,277,065	18,620,635
(E) 前期繰越損益金	△ 284,653,300	△ 236,493,145	△ 144,192,627	△ 318,876,531	△ 279,191,827	△ 285,695,853
(F) 追加信託差損益金	605,839,791	607,637,566	615,447,897	615,674,078	607,513,958	605,004,261
（配当等相当額）	(1,225,991,229)	(1,242,826,937)	(1,269,213,882)	(1,273,729,423)	(1,258,466,745)	(1,255,160,230)
（売買損益相当額）	(△ 620,151,438)	(△ 635,189,371)	(△ 653,765,985)	(△ 658,055,345)	(△ 650,952,787)	(△ 650,155,969)
(G) 合計（D＋E＋F）	380,821,999	478,353,051	311,394,909	347,959,788	335,599,196	337,929,043
(H) 収益分配金	△ 15,076,792	△ 15,261,520	△ 15,568,386	△ 15,619,757	△ 15,430,883	△ 15,388,547
次期繰越損益金（G＋H）	365,745,207	463,091,531	295,826,523	332,340,031	320,168,313	322,540,496
追加信託差損益金	605,839,791	607,637,566	615,447,897	615,674,078	607,513,958	605,004,261
（配当等相当額）	(1,225,991,229)	(1,242,826,937)	(1,269,213,882)	(1,273,729,423)	(1,258,466,745)	(1,255,160,230)
（売買損益相当額）	(△ 620,151,438)	(△ 635,189,371)	(△ 653,765,985)	(△ 658,055,345)	(△ 650,952,787)	(△ 650,155,969)
分配準備積立金	60,197,398	56,799,638	51,096,227	47,324,217	42,223,899	36,939,945
繰越損益金	△ 300,291,982	△ 201,345,673	△ 370,717,601	△ 330,658,264	△ 329,569,544	△ 319,403,710

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,480,730円	12,766,726円	10,003,847円	11,966,820円	11,022,424円	10,347,020円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,225,991,229	1,242,826,937	1,269,213,882	1,273,729,423	1,258,466,745	1,255,160,230
(d) 分配準備積立金	62,793,460	59,294,432	56,660,766	50,977,154	46,632,358	41,981,472
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,301,265,419	1,314,888,095	1,335,878,495	1,336,673,397	1,316,121,527	1,307,488,722
(f) 分配金	15,076,792	15,261,520	15,568,386	15,619,757	15,430,883	15,388,547
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,286,188,627	1,299,626,575	1,320,310,109	1,321,053,640	1,300,690,644	1,292,100,175
(h) 受益権総口数	2,512,798,761口	2,543,586,699口	2,594,731,009口	2,603,292,896口	2,571,813,868口	2,564,757,961口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

運用報告書 第8期（決算日 2019年11月12日）

（作成対象期間 2018年11月13日～2019年11月12日）

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

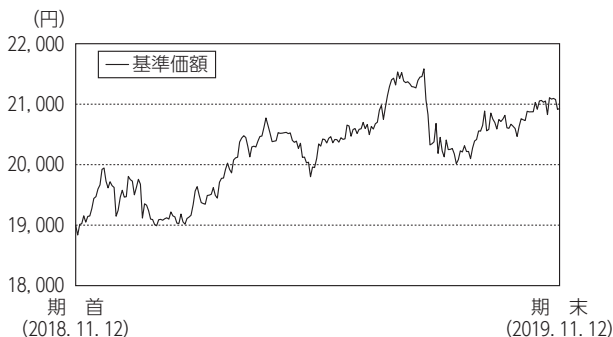
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		J Pモルガン G B Iー E M インド (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2018年11月12日	18,994	—	18,954	—	95.3
11月末	19,922	4.9	19,967	5.3	96.3
12月末	19,677	3.6	19,804	4.5	94.9
2019年 1月末	19,027	0.2	19,121	0.9	94.6
2月末	19,447	2.4	19,564	3.2	96.5
3月末	20,387	7.3	20,406	7.7	96.0
4月末	20,268	6.7	20,317	7.2	93.2
5月末	20,414	7.5	20,472	8.0	95.7
6月末	20,702	9.0	20,753	9.5	96.1
7月末	21,457	13.0	21,533	13.6	95.7
8月末	20,314	6.9	20,406	7.7	96.5
9月末	20,754	9.3	20,845	10.0	96.8
10月末	21,051	10.8	21,186	11.8	96.5
(期末) 2019年11月12日	20,929	10.2	21,056	11.1	95.6

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン G B Iー E M インド (円換算) は、J Pモルガン G B Iー E M インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B Iー E M インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用していません。J. P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：18,994円 期末：20,929円 騰落率：10.2%

【基準価額の主な変動要因】

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーが対円で下落 (円高) したことはマイナス要因となりましたが、債券の利息収入と債券価格の上昇 (金利は低下) がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド債券市場

インド債券金利は低下 (債券価格は上昇) しました。

当作成期首から、インフレ率の鈍化や原油価格の下落を背景に金利は低下しました。2018年末にかけて、世界的に景気減速が懸念されたことも金利低下の要因となりました。2019年1月以降は、2019年度 (2019年4月～2020年3月) の予算案が財政拡張的な内容になったことによる財政赤字の拡大懸念から、長期金利は低下幅を縮めました。一方で、利下げやインフレ率の低位安定を受けて短期金利は低下しました。3月にかけては、インドの景気鈍化が懸念されたことや総選挙を控えて追加の金融緩和への期待が高まったことで、金利は低下しました。4月には、米国や中国における経済指標の改善を受けて世界的な景気回復への期待が高まったことや原油価格が上昇したことで、金利は低下幅を縮めました。

その後は、5月に下院総選挙で与党が圧勝したことや、インフレが鈍化する中でのインド準備銀行による金融緩和が材料となり、金利は低下しました。また、先進国の主要中央銀行が世界経済への懸念から金融緩和姿勢に転換し、世界的に金利が低下したことが、新興国債券市場全体の金利低下要因となりました。

○為替相場

インド・ルピー為替相場は対円で下落しました。

当作成期首から、ルピーは原油価格の下落を背景に上昇しました。その後、インド準備銀行の総裁交代劇で中央銀行の独立性が懸念されたことや地方議会選挙で与党の劣勢が報じられたことなどを背景に、下落に転じました。世界的に景気減速が懸念されたことも下落要因となりました。2019年3月には、主要先進国各国の中央銀行が金融引き締め姿勢を後退させたことやインドの貿易赤字の縮小、パキスタンの軍事的緊張が後退したことなどを背景に、ルピーは上昇しました。5月にかけては、米中間の貿易摩擦懸念が高まったことから市場心理が悪化し、ルピーは再び下落しました。6月には、原油と金価格上昇による貿易赤字の拡大懸念でルピーは一時下落しましたが、7月に外国直接投資規制の緩和を検討するとしことが好感され、上昇に転じました。8月には、米中貿易摩擦が高まり、市場心理が悪化したことでルピーは下落に転じました。10月後半からは、米中通商協議や英国のE U (欧州連合) 離脱問題への懸念が後退したことでも市場のリスク回避的な姿勢が弱まったことなどを背景に、下落幅を縮小させました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行います。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建ての債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行います。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	35 (23)
(その他)	(13)
合 計	35

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

公 社 債

当 期		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
INTL. FIN. CORP. (国際機関) 6.3% 2024/11/25	249,349	India Government Bond (インド) 8.33% 2026/7/9	250,425
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 2021/6/15	153,604	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 6.6% 2019/3/4	225,996
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 4.65% 2024/10/16	83,649	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 6.3% 2024/11/25	216,571
India Government Bond (インド) 6.62% 2051/11/28	81,312	India Government Bond (インド) 6.62% 2051/11/28	195,363
Housing & Urban Development Corp Ltd (インド) 8.37% 2029/3/23	79,126	India Government Bond (インド) 6.97% 2026/9/6	153,117
India Government Bond (インド) 9.23% 2043/12/23	56,835	HDFC Bank Ltd (インド) 7.95% 2026/9/21	106,435
EXPORT IMPORT BANK OF INDIA (インド) 3.875% 2028/2/1	51,348	ICICI Bank Ltd (インド) 7.6% 2023/10/7	91,377
INTL. FIN. CORP. (国際機関) 4.85% 2022/3/7	29,477	India Government Bond (インド) 9.15% 2024/11/14	83,160
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 4.7% 2021/10/13	22,320	India Government Bond (インド) 6.84% 2022/12/19	79,908
ICICI Bank Ltd/Dubai (インド) 3.8% 2027/12/14	21,165	EXPORT IMPORT BANK OF INDIA (インド) 8.15% 2030/1/21	78,370

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年11月13日から2019年11月12日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	千アメリカ・ドル 471	千アメリカ・ドル — (—)
		190	1,703 (—)
国	インド	千インド・ルピー 90,690	千インド・ルピー 531,548 (—)
		396,130	328,613 (—)
		—	321,899 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注 4) 単位未満は切捨て。

(2) 直物為替先渡取引

(2018年11月13日から2019年11月12日まで)

種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	4,233	1,162

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期 末							
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 1,950	千アメリカ・ドル 2,042	千円 223,031	% 9.3	% —	% 4.5	% 4.8	% —
インド	千インド・ルピー 1,288,000	千インド・ルピー 1,348,392	千円 2,076,523	% 86.4	% —	% 64.2	% 14.9	% 7.3
合 計	—	—	2,299,555	95.6	—	68.6	19.7	7.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	当 期		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ		EXPORT IMPORT BANK OF INDIA	特殊債券	3.8750	500	523	57,150	2028/02/01
		Oil India Ltd	社 債 券	5.3750	200	217	23,770	2024/04/17
		Bharat Petroleum Corp Ltd	社 債 券	4.6250	350	366	39,968	2022/10/25
		Adani Transmission Ltd	社 債 券	4.0000	250	254	27,791	2026/08/03
		ICICI Bank Ltd/Dubai	社 債 券	3.8000	200	204	22,306	2027/12/14
		Reliance Holdings USA Inc	社 債 券	5.4000	450	476	52,043	2022/02/14
通貨小計	銘柄数 金 額	6銘柄			1,950	2,042	223,031	
インド		India Government Bond	国債証券	8.9700	150,000	171,126	263,534	2030/12/05
		India Government Bond	国債証券	8.2800	100,000	108,690	167,382	2027/09/21
		India Government Bond	国債証券	9.2300	100,000	123,560	190,282	2043/12/23
		India Government Bond	国債証券	9.2000	50,000	58,134	89,526	2030/09/30
		India Government Bond	国債証券	8.1700	50,000	56,123	86,429	2044/12/01
		India Government Bond	国債証券	6.6200	70,000	65,939	101,546	2051/11/28
		India Government Bond	国債証券	6.7900	100,000	100,690	155,062	2027/05/15
		India Government Bond	国債証券	7.6100	50,000	52,087	80,214	2030/05/09
		India Government Bond	国債証券	6.6800	50,000	48,847	75,225	2031/09/17
		Food Corp of India	特殊債券	9.9500	50,000	53,348	82,155	2022/03/07
		Housing & Urban Development Corp Ltd	特殊債券	8.3700	50,000	52,819	81,341	2029/03/23
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	—	113,000	100,374	154,576	2021/06/15
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	4.6500	60,000	54,567	84,033	2024/10/16
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	4.7000	15,000	14,019	21,589	2021/10/13
		INTL. FIN. CORP.	特殊債券	6.3000	30,000	29,953	46,128	2024/11/25
		INTL. FIN. CORP.	特殊債券	4.8500	20,000	18,929	29,151	2022/03/07
		HDFC Bank Ltd	社 債 券	7.9500	30,000	30,747	47,351	2026/09/21
		ICICI Bank Ltd	社 債 券	7.6000	50,000	50,788	78,214	2023/10/07
		Axis Bank Ltd	社 債 券	8.8500	50,000	53,192	81,915	2024/12/05
		INDIAN RENEW ENERGY DEV	社 債 券	8.0500	50,000	49,981	76,970	2027/03/29
		NTPC Ltd	社 債 券	9.1700	50,000	54,475	83,891	2024/09/22
	通貨小計	銘柄数 金 額	21銘柄			1,288,000	1,348,392	2,076,523
合 計	銘柄数 金 額	27銘柄					2,299,555	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

(3) 直物為替先渡取引残高

2019年11月12日現在

種 類	取 引 契 約 残 高	
	想 定 元 本 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	229	—

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2, 299, 555	95. 5
コール・ローン等、その他	109, 527	4. 5
投資信託財産総額	2, 409, 083	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月12日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝109. 17円、1 インド・ルピー＝1. 54円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (2, 402, 476千円) の投資信託財産総額 (2, 409, 083千円) に対する比率は、99. 7% です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2, 409, 083, 386円
コール・ローン等	57, 300, 154
公社債（評価額）	2, 299, 555, 757
未収入金	603, 998
未収利息	50, 345, 145
前払金	284, 420
前払費用	993, 912
(B) 負債	4, 370, 250
未払解約金	4, 232, 750
その他未払費用	137, 500
(C) 純資産総額（A－B）	2, 404, 713, 136
元本	1, 148, 987, 668
次期繰越損益金	1, 255, 725, 468
(D) 受益権総口数	1, 148, 987, 668口
1万口当り基準価額（C／D）	20, 929円

* 期首における元本額は1, 889, 393, 881円、当作成期間中における追加設定元本額は155, 949, 285円、同解約元本額は896, 355, 498円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、インド・ボンド・オープン（毎月決算型）20, 011, 178円、ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）1, 128, 976, 490円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は20, 929円です。

■損益の状況

当期 自 2018年11月13日 至 2019年11月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	169, 958, 348円
受取利息	169, 896, 514
その他収益金	76, 419
支払利息	△ 14, 585
(B) 有価証券売買損益	84, 691, 984
売買益	166, 461, 356
売買損	△ 81, 769, 372
(C) 先物取引等損益	31, 907, 081
取引益	72, 269, 530
取引損	△ 40, 362, 449
(D) その他費用	△ 4, 533, 926
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	282, 023, 487
(F) 前期繰越損益金	1, 699, 399, 283
(G) 解約差損益金	△ 884, 092, 777
(H) 追加信託差損益金	158, 395, 475
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	1, 255, 725, 468
次期繰越損益金（I）	1, 255, 725, 468

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。